

## 公開講座

# 「鎌倉震災誌」に学ぶ防災と減災

大正12年(1923年)9月1日関東大震災が発生した。大きな揺れと津波で鎌倉町は壊滅した。復興を果たした昭和5年鎌倉町役場は地震の発生から復興までの記録を「鎌倉震災誌」として発行した。

それまで地震に対する備えを怠っていた自戒を含め後進の減災の助けになることを祈ってのことである。

NAMAZUの会はこの先人の遺志を今に判り易く伝えるために平成16年鎌倉市役所内に自主研究グループとして結成された。

大正時代の表現を現代語に訳し、図表をデジタル化し新たな資料を加え最終的に「新編鎌倉震災誌」(冬花社)として2017年出版した。

この度、NAMAZUの会にその解説をお聞きする機会を頂いた。

近年、東北、熊本と大震災が続く。94年前鎌倉の人たちが未曾有の大震災に遭遇し何を後世に伝えたかったのか今こそその声に耳を傾ける時だと考えた。

日時 平成30年2月17日(土)

13:30~16:00

場所 鎌倉建長寺 方丈

\*拝観料(500円)をお支払いください。



鎌倉市山ノ内8

0467-22-0981

北鎌倉駅から徒歩15分

北鎌倉駅又は鎌倉駅から

江ノ電バス建長寺バス亭

下車

参加 100名(当日先着順)

受講料 無料

講演 「鎌倉震災誌」に学ぶ

講師 NAMAZUの会

(浪川幹夫、平田恵美、奥山信治、小檜山巖)

主催 (一社)神奈川県建築士事務所協会

鎌倉支部

後援 鎌倉市

協賛 (一財)神奈川県建築安全協会

